



# 夏の夜は、ホタルで夕涼み

## 「十日市場ホタルを守る会」が発足

**斎藤治弘さん**  
 今はもうこの辺では麦畑を見ることは出来ませんが、私の子供の頃は沢山ありました。麦こきをした後、それでホタルの籠を作ったものですね。それに確かホタル草というものもありましたね。なんかとても懐かしく思えてきます。

私達のまわりからホタルが姿を消して久しくたちました。かつては、夏の風物詩であったホタル狩り、今となっては、懐かしい思い出です。  
 十日市場の第一水源地の傍らに住む中野房治さんの家の近くに、ここ二、三年ホタルが飛ぶようになりました。夜ともなるとホタルを見に沢山の人がやってきました。しかし、心無い者によるホタルの捕獲は後を立ちません。「せっかくなにか守ってやろう」と自治会長の渡辺与蔵さんの呼び掛けで、十日市場自治会が中心となって「ホタルを守る会」が結成されました。  
 結成まもないこの会の皆さまにお話を聞いてみました。



### ホタルの観察会へあなたも参加してみませんか！

**期 日** 7月10日(金)  
**時 間** 午後5時30分～8時  
**場 所** 十日市場公民館  
**日 程** ホタルの説明・ホタルの映画鑑賞・ホタル観察

**参加費** おとな 500円  
 こども 300円  
 これは夕食代です。

**申込先** 十日市場ホタルを守る会  
 会長 渡辺 与蔵  
 ☎(43)3279  
 電話は、午後6時過ぎにお願いします。



渡辺儀雄さん

昔からホタルはいましたね。あの辺には共同水車があつて、川は今よりずっときれいでヤマメが取れるほど自然に恵まれた場所だったんです。水量は昔から変わらないし、水温は一年中一定です。これがホタルに適しているのかもしれないですね。あの辺の側溝だけは、今まで通りにしておいて欲しいですね。



中野新作さん

数年前からホタルが飛ぶようになったことに気付いていました。都留文科大学の学生をホタルの住む川に案内したこともあります。確か動物学研究室の学生だったと思います。ホタルの保護には、学生も協力したいと言っていましたね。

ホタルの光は神秘的ですね。でも、私はホタルが群がって飛んでいた記憶はありません。もうその頃から少なくなっていたのでしょうか。

山下 明さん



ホタル・ちよつと考えたこともなかったですね。仕事に追われ、また興味もなかったからね。でもこうして皆の話を知っていると、子供のとき麦藁でホタルの籠を作ったことをなんとなく思い出してききました。今でも作ることが出来るかもしれないね。今の子供達にも経験させてあげたいですね。それにしても、ホタルの光は神秘的ですね。